第4回化学A演習レポート

提出日 2019 年 月 日

学科: クラス: 学籍番号

氏名

【注意】必要に応じて、電気素量 1.602 x 10⁻¹⁹ C、電子の質量 m_e = 9.109 x 10⁻³¹ kg, h = 6.63 x 10⁻³⁴ Is. 光の速度 $c = 3.00 \times 10^8 \text{ m s}^{-1}$ を用いよ。その他、必要な定数があれば、その旨明記して使用して良い。 問題 1. 座標をxとして、一次元のシュレディンガー方程式を記しなさい。

-解答-

1次元のシュレディンガー方程式は、ポテンシャルエネルギーを U、全エネルギーを E とす ると、

$$-\frac{h^2}{8\pi^2 m}\frac{d^2\Psi}{dx^2} + U\Psi = E\Psi \qquad \cdots (2.1)$$

と表わされる。 mm 0を7.0 多数の前

問題 2. 長さ a の一次元の箱 (ポテンシャルエネルギー: U=0) の中に質量 m_e の電子が閉じ込められていると き、以下の設問に答えなさい。但し、式誘導については全て示すこと。

(A) 電子のとりうるエネルギーEnを、量子数nを用いて求めなさい。 1840年 1841年 1841年

-解答-

(2.1)式において、L=0であるので、変形すると、

$$\frac{d^2}{dx^2}\Psi(x) = - \left(\sqrt{\frac{8\pi^2 m_e E}{h^2}}\right)^2 \Psi(x)$$

と表わせる。ここで、この式の一般解は $C = \sqrt{\frac{8\pi^2 m_e E}{h^2}}$ …(3.1)とおくと、

 $\Psi(x)AsinCx + BcosCx$

とおける。また、界面条件よりx=0のとき

 $\Psi(0) = A\sin 0 + B\cos 0 = B = 0$

となり、同様にx = aのときは、

 $\Psi(a) = AsinCa = 0 \cdots (3.2)$

となる。ここで、A=0とすると、ホワーデルタエの影がなって知らず日の出口の水がありはない。

 $\Psi(x) = 0 \implies |\Psi(x)|^2 = 0$

となり、ボルンの確率解釈より、箱の中に粒子が存在しなくなってしまう。 よって、A≠0となり、(3.2)式より、

 $Ca = n\pi \Leftrightarrow C = \frac{n\pi}{a} (n = 0,1,2,...)$

ここで、n = 0とすると、 $\Psi(x) = 0$ となり不適となるので、

 $C = \frac{n\pi}{2}$ (n = 1,2,3,...) ···(3.3)

したがって、(3.1)式より、

$$E_n = \frac{n^2h^2}{8m_na^2}$$
 (n = 1,2,3,...) ···(3.4)

と、電子のとりうる電子エネルギーEnが求められる。

(B) 規格化された電子の波動関数を求めなさい。

あたとのユニスルギー le av 単体で、また、光の硬膜を mi 単位で

-解答-

(3.3)式より、シュレディンガー方程式の解は、

$$\Psi(x) = A \sin \frac{n\pi}{a} x$$

であるので、規格化条件より、

$$\int_0^a \lvert \Psi(x) \rvert^2 dx = A^2 \int_0^a \sin^2 \frac{n\pi}{a} x$$

$$=\frac{A^2a}{2}=1$$

$$\therefore A = \sqrt{\frac{2}{a}}$$

$$\therefore \Psi(x) = \sqrt{\frac{2}{a}} \sin \frac{n\pi}{a} x$$

(C) 光励起によりn=1 の準位にいる電子をn=2 の準位に励起する。箱の長さ 0.750 nm として、このときの光のエネルギーの大きさを J 単位で求めよ。

-解答-

$$\Delta E = E_2 - E_1$$

$$=\frac{h^2}{8m_ea^2}(2^2-1^2)$$

$$= 3 \times \frac{(6.63 \times 10^{-34} \text{Js})^2}{8 \times 9.109 \times 10^{-31} \text{kg} \times (0.750 \times 10^{-9} \text{m})^2}$$

$$= 3.22 \times 10^{-19}$$
J

と求められる。

(D) (C) で求めた光のエネルギーを eV 単位で、また、光の波長を nm 単位で、それぞれ求めなさい。 -解答-

1eV の定義は 1V の電位差がある自由空間内で電子 1 つが得るエネルギーである。

また、1Jは1Vの電位差の中で1Cの電荷を動かすのに必要な仕事と定義されるので、以下の関係が成り立つ。

$$1eV = 1.602 \times 10^{-19}$$
J

したがって、(C) で求めたΔEを eV 単位に直すと、

$$\Delta E = \frac{3.22 \times 10^{-19} J}{1.602 \times 10^{-19} J/eV} = 2.01 eV$$

となる。次に、光と波長の関係は以下の式で表わされる。ハルカルスラールルルエスルスのエスルエスルス

$$E = hv = \frac{hc}{\lambda}$$
 ···(3.5)

したがって、求める光の波長んは、

$$\lambda = \frac{hc}{\Delta E} = \frac{6.63 \times 10^{-34} Js \times 3.00 \times 10^8 ms^{-1}}{3.22 \times 10^{-19} J} = 618 nm$$

となる。